

第 99 回看護師国家試験合格率は 89.5%

2010年保健師・助産師・看護師国家試験合格状況

■ 第 96 回保健師合格率 86.6%

■ 第 93 回助産師合格率 83.1%

厚生労働省は 3 月 26 日、2009 年度の第 96 回保健師国家試験、第 93 回助産師国家試験および第 99 回看護師国家試験の合格者を発表した。

表 1 保健師・助産師・看護師国家試験合格者と合格率

	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第 96 回保健師	13,048	11,295	86.6
第 93 回助産師	1,901	1,579	83.1
第 99 回看護師	52,883	47,340	89.5

合格率は保健師 86.6%、助産師 83.1%、看護師 89.5%。保健師は 3 年ぶり、助産師は 6 年ぶりに 90%を割り込み、2008 年度より 10%以上下回る結果となった(表 1～4)。「選択肢に正解がないため、採点対象から除外する」とされた問題は保健師で 1 問、「複数の正解があるため、複数の選択肢を正解とする」とされた問題は助産師で 3 問、「設問文が不明確であるため、採点対象から除外する」とされた問題は助産師で 1 問、「問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため、採点対象から除外する(正解者は採点対象に含め

表 2 第 99 回看護師国家試験合格状況

区分	学校数	新卒				既卒			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
3 年課程	687	33,581	33,392	32,071	96.0%	2,038	1,981	1,166	58.9%
大学	145	11,191	11,156	10,925	97.9%	334	315	245	77.8%
短期大学	53	2,056	2,040	1,882	92.3%	276	265	146	55.1%
養成所	489	20,334	20,196	19,264	95.4%	1,428	1,401	775	55.3%
2 年課程	331	11,784	11,493	10,265	89.3%	2,638	2,551	1,017	39.9%
短期大学	2	—	—	—	—	18	16	4	25.0%
養成所	265	7,315	7,258	6,789	93.5%	1,138	1,093	398	36.4%
高等学校専攻科	43	379	377	339	89.9%	333	317	91	28.7%
通信制	21	4,090	3,858	3,137	81.3%	1,149	1,125	524	46.6%
高校・高校専攻科 5 年一貫教育	67	2,858	2,835	2,643	93.2%	299	295	108	36.6%
EPA	—	156	154	1	0.6%	101	100	2	2.0%
インドネシア	—	97	95	0	0.0%	101	100	2	2.0%
フィリピン	—	59	59	1	1.7%	—	—	—	—
その他	1	72	70	60	85.7%	12	12	7	58.3%
計	1,085	48,451	47,944	45,040	93.9%	5,088	4,939	2,300	46.6%

表 3 第 96 回保健師国家試験合格者状況

区分	学校数	新卒				既卒			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
大学	142	11,827	11,773	10,346	87.9%	315	290	123	42.4%
短期大学専攻科	9	306	306	271	88.6%	11	11	1	9.1%
養成所	22	655	638	546	85.6%	31	30	8	26.7%
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	173	12,788	12,717	11,163	87.8%	357	331	132	39.9%

表 4 第 93 回助産師国家試験合格者状況

区分	学校数	新卒				既卒			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
大学院	8	72	69	59	85.5%	1	1	1	100.0%
大学専攻科	9	148	146	131	89.7%	1	1	1	100.0%
大学	84	708	710	564	79.4%	1	1	0	0.0%
短期大学専攻科	12	161	161	128	79.5%	2	2	0	0.0%
養成所	40	815	810	695	85.8%	—	—	—	—
その他		—	—	—	—	—	—	—	—
計	153	1,904	1,896	1,577	83.2%	5	5	2	40.0%

表 5 2009 年度保健看護国家試験の合格基準

【第 96 回保健師国家試験】	
一般問題を 1 問 1 点(74 点満点)、状況設定問題を 1 問 2 点(60 点満点)とし、次の合格基準を満たす者を合格とする。	
◆総得点 81 点以上／134 点	
【第 93 回助産師国家試験】	
一般問題を 1 問 1 点(74 点満点)、状況設定問題を 1 問 2 点(60 点満点)とし、次の合格基準を満たす者を合格とする。	
◆総得点 81 点以上／134 点	
【第 99 回看護師国家試験】*	
必修問題および一般問題を 1 問 1 点、状況設定問題を 1 問 2 点とし、次の①②のすべてを満たすものを合格とする。	
◆(1)必修問題	40 点以上／50 点
ただし、必修問題の一部を採点から除外された受験生にあつては、必修問題の得点について総得点の 80% 以上とする。	
(2)一般問題	151 点以上／250 点
状況設定問題	

る)」とされた問題は看護師で 6 問であった。なお、合格基準は表 5 の通りである。

■EPA で初の合格者 3 名

看護師国家試験では、経済連携協定(EPA)により来日し、今年で 2 回目の受験となったインドネシア人看護師候補者からは来日 2 年目の 2 名、今回初めての受験となったフィリピン人看護師候補者からは 1 名の合格者が出た。

昨年 11 月に行われた「平成 22 年度経済連携協

定に基づく受入れ説明会」では、2 人のインドネシア人看護師候補者が登壇し、国家試験合格に向けて必死に勉学に励む日常や患者との関わりについて語った。国家試験に向けては各所属施設でさまざまな支援を行っており、今回の 3 名の合格は、来年最後の受験の機会となるインドネシア人看護師候補者にとっても心強い後押しとなったようだ。

また、昨年度 3956 人中 2981 人と受験者数、合格者数ともに漸減した 2 年課程通信制が、今年は 4983 人中 3661 人と増加に転じた。

■「国家試験出題基準」適用の最初の年

今回より、昨年 4 月に発表された「平成 22 年版保健師助産師看護師国家試験出題基準」が適用となった。看護師国家試験では、全 240 題のうち、必修問題の出題数が前回の 30 題から 50 題に増えた。また、必修問題数の増加に伴い出題範囲も拡大し、なかでも看護活動の場の拡大や活動内容の多様性、基本的看護技術の充実が図られた。

今回、「必修問題として妥当ではない」として採点除外された問題が 6 問あったことから、次回以降、必修問題についての再検討が望まれる。

なお、次号に今回の国家試験に関する分析・解説を特別記事として掲載する。